

取組の概要

取組の概要 : たまねぎの新たな乾燥方式を導入した乾燥冷蔵施設の整備による品質向上
 計画作成主体 : 南あわじ市農業再生協議会
 対象品目 : たまねぎ (産地面積 : 70.2ha)
 主な取組主体 : あわじ島農業協同組合

成果目標 : 10a当たり販売額の10%向上
 助成金の活用 : 整備事業
 状況 (たまねぎ乾燥冷蔵施設・根葉切機)

ポイント

大型鉄コンテナで根葉付きのまま集荷し、新たな乾燥システム(強制通風乾燥システム)を導入することにより、生産者の労力低減が図れるとともに、乾燥品質の向上により長期貯蔵が可能となり分散出荷することで販売額の増加を図る。

地区の概要



兵庫県
南あわじ市
北阿万地区

産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積: 70.2ha
販売額: 544,847円/10a

〈目標:H30年度〉

作付面積: 70.2ha
販売額: 600,841円/10a



推進体制

地域の関係者(南あわじ市、JAあわじ島、淡路県民局等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 南あわじ市野菜病害虫防除推進会議(JA、市、商系業者、技術センター、普及センター等)を設置し、高品質たまねぎの安定生産に取組んでいる。
- 革新的技術開発・緊急展開事業を活用し、たまねぎ大型コンテナを導入した搬送、乾燥、貯蔵体系の確立に取組んでいる。

〈県単独事業〉

- 県単事業を活用し、大型収穫機等を導入して機械化一貫体系の確立を推進。

事業効果

- 新たな乾燥方式の導入により均一に乾燥させることができるため、秀品率が向上する。
- 乾燥品質の向上により晩生品種の冷蔵出荷の増加が図られることにより、分散出荷が可能となり販売額の増加が見込める。

～たまねぎの10a当たり販売額～

